



令和7年度 茨城県立古河第三高等学校

学校経営計画表(グランドデザイン)

本校教育の目標 ～ 校訓「自立・敬愛・創造」～

「自立・敬愛・創造」の校訓のもと、自力で自らの立ち位置を定め、自他共に尊重し、新たなものを創り出そうとする気概と柔軟さを持って広く社会に貢献できる人材を育成する。

- 自ら学び、考え、判断し、行動できる生徒を育む学校
- 自他共に尊重し、思いやりの心にあふれた生徒を育む学校
- 柔軟な思考で、気概を持って未来を切り拓く力をそなえた生徒を育む学校

令和7年度重点目標

- ①生徒が希望する上級学校進学を実現する
- ②家庭学習の習慣化
- ③豊かな人間性を身につけるための取り組み
- ④広報活動の充実
- ⑤個に対応した指導
- ⑥学校安全の徹底
- ⑦働き方改革の推進
- ⑧授業改善

豊かな人間性

- ・授業や課外活動を通じた、自己有用感の高揚及び自律・自立の心の育成
- ・部活動・生徒会活動・JRC委員会・学校行事など教科外活動の充実
- ・責任を持って行動する態度の育成

健康・体力

- ・部活動・ボランティア活動への積極的参加および活動時間の確保
- ・文化祭・球技会等の学校行事への主体的参加
- ・健康についての自己管理能力の向上

何ができるようになるか

- ◇ 1年「自己発見」 2年「自己発展」 3年「自己実現」

何が身についたか

- ◇ 観点別学習状況評価・ルーブリック評価・自己評価
- ◇ 各生徒の学びの記録（探究・キャリア学習・上級学校研究等）

生徒の実態

- ◇ 穏やかで優しく思いやりのある生徒が多い。
- ◇ 協働する力があり、ボランティア精神が豊かである。
- ◇ 学びの姿勢は前向きだが受動的である。
- ◇ 主体的な行動力がやや不足している。
- ◇ 経験・体験が比較的少ない。



配慮を必要とする生徒への指導

- ・不登校傾向にある生徒及び家庭への支援
- ・SC、SSW、教育関係機関との連携
- ・情報共有・生徒との面談

目指す生徒の姿

- ◇ 意欲にあふれ、自ら学び行動する生徒
→ **アクティブラーナー**
- ◇ 多様性を尊重し、対話を通じてコミュニケーションをとりながら社会への貢献を目指す生徒
→ **グローバル市民**
- ◇ 将来、地域の政治・経済・文化等を牽引することができる生徒
→ **地域のリーダー**

特色ある学び

- ◇ 探究SS ～地域課題や社会貢献を中心とした多様な取組の展開～
- ◇ 文理のバランスに配慮し、難関大入試にも対応できる教育課程
- ◇ キャリア教育・SDGs研修・学部学科研究・海外スタディツアー
- ◇ 実力養成のための多様な課外講座

学びのスタイル

- ◇ 「主体的・対話的で深い学び」の推進～失敗を恐れない～
- ◇ ICTの活用（反転学習・学習アプリ等の補助的活用）
- ◇ 個に対応する教科指導
- ◇ 学習時間・学習計画の自己管理

実施するために何が必要か

- ・積極的な職員研修の実施（探究・SC他）
- ・学期ごとの「相互授業参観期間」の設定
- ・年2回の学校評議員会の開催

安心・安全を守る

- ◇ 学期毎に実施する定期点検の内容充実
- ◇ 防災意識を高める学習・研修
- ◇ 交通安全への意識の啓発および危険予知・事故回避能力の向上

社会に開かれた学校づくり

- ◇ 家庭・地域との情報共有
- ◇ 学校公開・中学校訪問・塾対象説明会・ホームページの活用
- ◇ 地域の行政機関や地元企業との連携
- ◇ 生徒の学びを地域や社会に還元する双方向型の連携